

【特選】十句

- 1 白毫の如き夕星大枯野 東京都 伊東肇
- 2 芭蕉忌や去来の墓に小雨降り 東京都 神田喜子
- 3 忌日とてひと日しぐるる近江かな 神奈川県 加川幸江
- 4 綿虫の遊行柳にあそびをり 東京都 早坂洋子
- 5 初明り色を朧じて琵琶の湖 東京都 平野哲
- 6 三代の夢を閉じ込め雪しんしん 東京都 飯田静
- 7 白河の関跡埋もる深雪かな 東京都 笠原与志生
- 8 風花や実方塚の森深閑 神奈川県 小沢麻結
- 9 大川に流る歲月翁の忌 東京都 千葉日出代
- 10 しぐるるや地図を手に踏む翁道 新潟県 岡地蝶児

【秀句】四十句

- 1 1 護符を身に山刃伐越へや笹子鳴く 宮城県 木村一枝
- 1 2 雲動き島動き出す冬の雷 新潟県 下條春秋
- 1 3 冬銀河囁き遙か遠流島 新潟県 石塚吉江
- 1 4 芭蕉忌やいまや難所も新幹線 埼玉県 古郡孝之
- 1 5 象潟や海に降る雪見てをりぬ 神奈川県 武田喜代子
- 1 6 拉致されし浜冬ざれの日本海 東京都 井坂宏
- 1 7 寒雷や原発望む色が浜 東京都 箱守田鶴
- 1 8 琵琶湖背に搭頭かげる時雨かな 神奈川県 塚本宗治
- 1 9 封人の家の炉明り湯気の音 千葉県 今田妙子
- 2 0 寒夕焼瀬田の唐橋染め上げて 神奈川県 庵崎京子
- 2 1 外浦の波の轟や寒の星 東京都 利谷圭介
- 2 2 指呼の間とふ佐渡はいづこや冬怒涛 新潟県 室橋克美
- 2 3 芭蕉忌や鎮魂の海寂深め 神奈川県 楠令子
- 2 4 落葉踏み幻住庵は山の中 東京都 津崎鈴子

| | | | |
|----|----------------|------|--------|
| 25 | 義仲寺に香煙けぶる翁の忌 | 東京都 | 三田村孝子 |
| 26 | 三体の阿弥陀様凍て御座しけり | 埼玉県 | 藤井功風 |
| 27 | 時雨忌や宿の外れに遊女墓 | 埼玉県 | 滝澤一美 |
| 28 | 松島の雪のあしたや墨絵なす | 東京都 | 乗松明美 |
| 29 | ピッケルの刃に荒星の光粒 | 千葉県 | 藤井稜雨 |
| 30 | 古地図に芭蕉を追へり春炬燵 | 宮城県 | 青沼百合子 |
| 31 | 関趾の冬苔乾らぶはせをの碑 | 宮城県 | 木村螢雪子 |
| 32 | 鳥海山深雪晴なる翁道 | 千葉県 | 中村かよ |
| 33 | 蓑笠の雪の重たし月の山 | 東京都 | 石山紀代子 |
| 34 | 枯野馳す今も遊子の翁道 | 東京都 | 菊池熱海 |
| 35 | 夜半の冬芭蕉の山河地図の旅 | 東京都 | 長沢康 |
| 36 | 山寺を一気に雪の郵便夫 | 東京都 | 岩本隼人 |
| 37 | 田一枚うづめし雪の光かな | 神奈川県 | 長谷川楨子 |
| 38 | 船笛が尾を引く雪の五大堂 | 宮城県 | 村山美江子 |
| 39 | 隧道を抜けて越後の雪催 | 東京都 | 宇田川紀代子 |
| 40 | 降る雪や川波けぶる最上川 | 神奈川県 | 増田邦次 |
| 41 | 絶壁の修業場雪のかがやけり | 東京都 | 山田まや |
| 42 | 白川郷刻紡ぐのみ冬構 | 東京都 | 池田忠一 |
| 43 | 風待ちの鱸綱堅し冬かもめ | 東京都 | 杉崎邦子 |
| 44 | 春隣る路傍楽士の奏ぶチ工口 | 神奈川県 | 高杉桂子 |
| 45 | 濡標あれば寄辺に小夜千鳥 | 新潟県 | 袖山りこ |
| 46 | 勢込む在の輩の兎狩 | 東京都 | 村山楓 |
| 47 | 梵鐘の余韻の中へ雪虫 | 東京都 | 河村洋子 |
| 48 | 塩釜の遊子に寒し浦の風 | 東京都 | 若狭いま子 |
| 49 | 日本海吠える白狼冬怒濤 | 東京都 | 石田榮 |
| 50 | 凍雲の荒磯の波を暗めたる | 千葉県 | 大橋有美子 |